

2014年4月28日

プロジェクト報告書

団体名 カリヨンとびらの家

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

社会人に向けて～スーツの提供と成人お祝い会の実施～

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

自立援助ホームで就労し、貯金と自立のための準備に励む子どもたちには、今日、明日を乗り越えていくことで精いっぱい、来るべき未来の冠婚葬祭、成人式等を想定してスーツを用意する余裕はないのが現状です。また、成人の機会に、家庭から祝ってもらえない子どもも多く、今後の長い人生で彼らの「実家」となって付き合いしていく当ホームには、その社会人としての巣立ちを支えたい思いが強くなります。自分のスーツや周辺小物を持つことは、子どもたちの社会人としての自覚と自信につながり、ホームでのお祝い会があるということは、自立生活を始めて不安の真ただ中にある子どもたちにとっては、大きな励ましと目標になるではと考えています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

成人を迎えた6名の子どもたちひとりひとりに、個人の財産としてスーツおよび周辺小物(革靴、鞆、コート、ベルト、Yシャツ等)を贈りました。彼らが、その管理やTPOに合わせた着こなし、ネクタイの結び方などを学ぶことは、社会人として必要なスキルの習得であると考えています。また成人お祝い会を開き、記念品をお贈りして、職員、子ども担当弁護士、ボランティアスタッフ、理事らでその巣立ちを祝福する時間を持ちました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

スーツのプレゼントは、子ども本人と職員とで、スーツ販売店に購入に行きました。スーツを選ぶ際の採寸や注意点などを信頼する大人と一緒に体験できたことは、今後同じように買い物をする場合に大切な経験になったと考えています。また、お祝い会は、対象となる子ども同士の面識がなかったため、1月24日、2月2日、3月24日に分けて開催しました。贈り物やお祝い会は、その実施ができる背景にたくさんの方のお支えがあり、皆があなたたちの自立や成人をお祝いしているんだよ、ということ子どもたちに伝えることができたのではと思っています。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

10代最後の数年間を当ホームで過ごし、いよいよ成人する子どもたちを祝う事が出来るのは、自立援助ホームに勤める者たちの胸が熱くなる瞬間のひとつです。子どもたちが、社会人として身を立て、あるいは誰かを手助けできるようになることを願い、スーツを贈り、またお祝いをさせていただきました。子どもたちは、それらの贈呈品やお祝いの席に感謝の言葉を述べてくれますが、参加する大人のほうが、祝わせてもらってありがとうという思いです。また、既に巣立っている子どもたちには、成人のお祝いをきっかけにホームとの交流が復活することもあり、この機会をご支援くださる真如苑の皆さまには感謝の気持ちは言葉では言い尽くせないほどです。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり



お祝い会記念撮影
(子どもたちの顔は伏せさせてい
ただいています。ご了承ください)



プレゼントしたスーツ、周辺小物一式
(一例)